

2026年3月19日作成 Ver.1

## 《情報公開文書》

集中治療室における血液培養の採取部位とコンタミネーション率の関連についての  
研究：単施設後方視的研究

## 研究の概要

## 【背景】

敗血症は、重症の患者さんにおいて命に関わることもある重大な原因の一つであり、早期に適切な抗菌薬（菌を殺す薬）を投与することが非常に重要です。そのため、薬を使う前に原因となる菌を特定するための「血液培養（血液を採取して菌を育てる検査）」を行うことが推奨されています。

通常、血液培養は腕などの静脈から2セット採取するのが標準的ですが、集中治療室（ICU）に入室している重症の患者さんは、全身のむくみやショック状態、治療用のカテーテルが複数入っていることなどが原因で、静脈からの採血が難しいことが少なくありません。

このような場合、代わりにすでに留置されている動脈ラインや血管内カテーテルから採血を行うことがあります。その際に皮膚の菌などが混入してしまうこと（コンタミネーション）が問題となります。コンタミネーションが起きると、不必要な抗菌薬の使用や入院期間の延長につながり、患者さんの不利益となってしまいます。

近年、動脈ラインからの採血は通常の採血と同等にコンタミネーションが少ないと報告されていますが、重症患者さんに頻繁に用いられる「持続的血液濾過透析（CHDF）」の回路から採血した場合のコンタミネーションについては、これまで十分に分かっていません。

## 【目的】

この研究の目的は、ICUに入室している患者さんにおいて、血液培養を採取する3つのルート（すでに留置されている動脈ライン、CHDFの回路、新しく挿入した血管内カテーテル）のうち、どの部位からの採血が最もコンタミネーションが少ないかを比較・検討することです。

## 【意義】

この研究によって、通常の静脈からの採血が困難な重症患者さんに対し、どのルートからの血液培養採取が最も適切であるかが明らかになります。コンタミネーション率を下げることであれば、不要な抗菌薬の投与や医療費を減らすことができ、より質の高い医療を患者さんに提供できる可能性があります。

## 【方法】

この研究は当院で長崎大学病院の集中治療室（ICU-A）で治療を受けられた患者さんの既存の診療情報を利用する「後方視的研究」です。既存情報を電子カルテシステムや重症患者情報システムから収集します。収集したデータの統計解析を行い、採取部位とコンタミネーション率の関連を評価します。

<b>対象となる患者さん</b>	
2022年1月1日から2025年12月31日までに当院のICU-Aで血液培養検査を受けられた18歳以上の患者さん	
<b>研究に用いる情報</b>	
<p>●研究に用いる情報</p> <p>下記の情報を診療録および重症患者情報システム（Presient<sup>®</sup> ICU）より収集します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>患者情報 <ul style="list-style-type: none"> <li>性別、年齢、身長、体重、ICU-Aに入室した時の診断名</li> </ul> </li> <li>血液培養検査に関する情報 <ul style="list-style-type: none"> <li>血液を採取した部位（動脈ライン、CHDF回路内採血ポート、新しく挿入した血管内カテーテルのいずれか）、採取した血液培養のセット数、採取前に投与されていた抗菌薬名、血液培養の検査結果</li> </ul> </li> <li>処置や器具に関する情報 <ul style="list-style-type: none"> <li>動脈ラインから採取した場合：採取した時点での動脈ラインの留置期間（体に入れていた期間）</li> <li>新しく挿入したカテーテルから採取した場合：カテーテルを挿入した部位（首や足の付け根など具体的に挿入した場所）</li> </ul> </li> </ul> <p>本研究で利用する情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。</p>	
<b>情報の利用開始予定日</b>	
本研究は2026年5月1日より「研究に用いる情報」を利用する予定です。	
<p>あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。</p> <p>ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。</p> <p>あらかじめご了承ください。</p>	
<b>研究実施期間</b>	
研究機関長の許可日～2027年3月31日	
<b>研究実施体制</b>	
研究責任者	<p>所属：長崎大学病院 麻酔科</p> <p>氏名：荒木 寛</p> <p>住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1</p> <p>電話：095（819）7370</p>

情報の管理責任者	長崎大学病院 病院長
<b>問い合わせ先</b>	
<b>【研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】</b> 長崎大学病院 麻酔科 荒木 寛（研究責任者） 〒852-8501 長崎市坂本1丁目7番1号 電話：095（819）7370 FAX 095（819）7373	
<b>【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）</b> 苦情相談窓口：医療相談室 095（819）7200 受付時間：月～金 8：30～17：00（祝・祭日を除く）	